



Fiscomm three

5分でわかる来週の予測!

You can understand the prospects of next week's futures market in only 5 minutes.

発行日 2009年4月3日 (金)

Precious metals



東京金



東京白金

【金】

NY株価が261ドルの上昇を見た。G20の共同声明を見て景気回復の兆しを感じたのだろうが、実効は薄いと思われる。烏合の衆がお互いに頑張りましょうと気合を掛けただけの具体策のない会合になった。米国の時価評価の緩和は金融機関の損失を約20%軽くするといわれているが、これは麻薬である。損失の隠蔽ないしは先送りに過ぎない。今後予想される商業用不動産価格の下落は、正に米国を断崖絶壁に追い詰めると思われ、金価格は短期的にはともかく、中長期的には強気が良いと思う。G20金融サミットでIMFの保有金売却益および余剰資金を活用して今後2~3年にわたり、最貧国のために60億ドルの譲渡的かつ弾力的な追加的資金を供給することで合意した。IMFの金準備高は昨年末時点で3217.3トンあり、公的機関で世界第3位の保有高を占める。しかし、これには加盟各国の議会の承認が必要となる。米国議会がそれを認めれば、金価格は一時的に弱含みになるかもしれない。
予想レンジ 2,900 ~ 3,100円

【白金】

3月の日本の自動車販売は前年同月比25.3%減の54万6098台、米自動車販売は同36.8%減の85万7735台となった。自動車生産各社は生産能力の半分以上の減産を行っている。とてもプラチナを使う需要が増えるとは思えない。インドの金輸入も止まったままだし、宝飾品需要は景気に遅れて回復する。プラチナが高くなる理由は見つけ難い。
予想レンジ 3,400 ~ 3,600円

掲載される情報は株式会社フィスココモディティー(以下「FCOMM」という)が信頼できると判断した情報源をもとにFCOMMが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、FCOMMは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はFCOMMに帰属し、事前にFCOMMへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

FCOMMが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、FCOMMは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

FCOMMおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

発行元：株式会社フィスココモディティー

東京都千代田区九段北4丁目1番28号 九段ファーストプレイス7階
(Tel) 03 5212 8615 (E-mail) advisor-comm@fisco.co.jp



Oil



東京原油

【原油】

石油の需要は自動車需要の減少と共に落ち込んでおり、2日に米エネルギー情報局(EIA)が発表した3月27日までの週間在庫統計では、原油在庫は前週比280万バレル増、ガソリン在庫は同220万バレル増、留出油在庫は同30万バレル増。原油在庫は4週連続での増加、3月末としては1990年以来の高水準となっている。3月27日時点での米国のガソリン需要は4週平均では同0.2%減の903.8万バレル。前年同期比で1.4%減、過去5年平均比で0.7%減となり、例年とのギャップが広がっている。株価が上がったのは多分に心理的要因であり、いずれその反動は来ると思われ、株価の下落と共に原油価格も下落すると思われる。
予想レンジ 30,000 ~ 32,000円

【石油製品】

一律千円の高速道路料金が効き新日石は先週末のガソリン需要は19%増となったという。石油連盟の週報から推計したガソリンの推定出荷量は、前週比7.4%増の116.4万klとなり、2週連続で増加した。今後行楽需要などから需要が増加すると思われ、供給面では、今後、製油所の定期修理が本格化することや元売りの減産が継続することが支援材料となる。ただ、原油価格が値下がれば影響を受けるだろう。灯油の場合、過去9年間で4月は8回上昇している。これは受け渡し限月が10月であるからだと思われる。灯油の需要時期は終わったと考えるよりは始まったと見た方が良くもかもしれない。

予想レンジ 東京ガソリン 44,000 ~ 46,000円
東京灯油 44,000 ~ 46,000円



東京ガソリン

Rubber, Aluminum



東京ゴム

【ゴム】

東京ゴム価格は鎌首を持ち上げている。先週末と今週月曜日は下がったものの、その後4連騰で160円を超えてきた。しかし、それにはさしたる理由は無。自動車販売は低迷しているため自動車生産は非常に悪い。実需の増加期待というよりは円安や株高の影響を受けたものである。ということは株安や円高になればゴム価格も下がると思われ、ゴム価格が回復したと理解するのは時期早尚と思われる。来週あたりは反動下げがあるだろう。

予想レンジ 140 ~ 160円



東京アルミニウム

【アルミ】

アルミは出来高が非常に薄いので、価格が飛ぶようになっている。今朝も昨日の引け値からいきなり8円高で始まった。そして、場中では6円安まで下がるなど荒い動きをしている。アルミの需要は自動車や建築用需要が激減しており、2月の日本のサッシ向け押し形材需要は25ヶ月連続のはマイナスとなっている。今年に入ってから急激に需要が落ち込んでいることが今日のフィスコムワンにチャートで示した。これを見ると当分アルミ価格は回復しそうに無いように思える。底値は脱して銅価格に連れ高とはなっているが、決して上昇ムードにあるわけではない。

予想レンジ 140 ~ 150円

Grain



東京一般大豆



東京とうもろこし

【大豆】

米国農務省のチーフエコノミスト、ジョー・グラウバー氏は1日、2009 - 10年度の米国大豆生産が過去最高の32億ブッシェルに、大豆輸出は過去最大の12億2500万ブッシェルに達すると予想した。期末在庫は3億1100万ブッシェルと、前年度の推計(2億1000万ブッシェル)を大幅に上回ると推測。また、同氏は「価格は8.50ドルと、06 - 07年度以来の低水準に落ち込む」との見通しを発表した。実需筋は「世界経済がデフレから完全に脱却し切れていない現状で、穀物だけが下値を切り上げ続ける展開は想定できない」とし、「目先、米産地の天候や中国の動向を見極めながら方向感を探る」とみている。

予想レンジ 40,500 ~ 39,000円

【トウモロコシ】

31日に発表された2009-10年度産の作付け意向面積は、8498万エーカーと市場予想(8441万エーカー)を小幅ながら上回った。ただ、主産地では降雨や気温低下を背景に作付け遅れが懸念されており、作付面積の下振れリスクが高まっている。目先、シカゴ相場が400セントを大きく割り込む可能性は低いだろう。今後は農家の売りを消化しながら、天候リスクを織り込む形で徐々に下値を切り上げていこう。ただ、米国環境保護局(EPA)が1日に、「ガソリンに対するエタノール混合比率を引き上げてもエンジンに影響がないかどうか」という政府の調査が完了するまでにさらに1年かかる」との見通しを示したため、短期的には失望売りが広がる可能性もある。

予想レンジ 22,000 ~ 20,500円

Soft



東京アラビカ

【アラビカコーヒー】

国際コーヒー機関(ICO)のオソリオ事務局長は31日、2009 - 10年度の世界のコーヒー供給が需要を600万 - 800万袋(1袋 = 60キロ)程度下回るとの見通しを示した。ブラジルにとって09 - 10年度はコーヒー生産の少ない年に当たることや、大雨の影響やコーヒー樹の植え替え作業に伴い、コロンビアのアラビカ豆の品質低下が予想されるとしている。ただ、為替次第ではブラジルなど産地筋の売り意欲が高まることから、積極的に買い進む向きが限られている。目先は110 - 120セント、外部環境次第でさらに上下5セント程度のレンジにとどまる可能性が高い。

予想レンジ 21,000 ~ 19,500円

【粗糖】

世界的な景気回復への期待感からNY原油(WTI)相場が上昇しており、これがエタノール需要の支援材料となっている。世界最大のサトウキビ生産国であるブラジルの貿易局(SECEX)が発表した速報データによると、3月のエタノール輸出は1億5,700万リットルと前月比で32.5%も増加した。また、世界最大の消費国であるインドの2008 - 09年度の砂糖生産量見通しが1,550万トンから1450万トン(前年度は2630万トン)へとさらに下方修正されたことも支援要因になっている。ただ、3日発表の3月の米雇用統計は一段と厳しい数字が予想されているため、発表後のファンド筋の動向の見極めが必要と思われる。

予想レンジ 36,000 ~ 34,500円



東京粗糖